

## (臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 努力肺活量が長期間安定している特発性肺線維症の疫学調査

[当院研究責任者] 部署名 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 近藤康博太田翔

[研究の背景] 努力肺活量（FVC: forced vital capacity）は最も重要な疾患進行の指標であるとともに重要な予後規定因子であり、特発性肺線維症（IPF: idiopathic pulmonary fibrosis）では進行性に減少する。実臨床では、時として長期間にわたってFVCが安定したIPF症例を経験するが、その疫学は明らかでない。

[研究の目的] 長期間FVCが安定しているIPFの疫学を調査する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2008年1月から2016年8月の期間に初回評価を行ったIPFの症例

●研究期間：実施許可日から2028年12月31日まで

●利用する検体、カルテ情報

年齢、身長、体重、性別、喫煙歴、基礎疾患、呼吸困難感、運動耐容能、生活関連QOL、検体検査（LDH、KL-6、SP-D、自己抗体）、6分間歩行試験、動脈血液ガス検査、画像検査、病理検査、肺機能検査、気管支鏡検査

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科 近藤康博太田翔

電話 0561-82-5101

FAX 0561-82-9139